

自治会から感謝状

奥井代表 今後も発展に尽力



笑顔でテープカットが行われた(写真・上)、感謝状を手に今後も地域に貢献したいと話す奥井代表(右)

奥井総建 沖島の奉仕整備活動完了

高品質な施工・技術・サービスを持って地元と共に成長を続けている総合建設業・奥井総建(奥井敦史代表・近江八幡市島町1634)はこのほど、琵琶湖湖上に浮かぶ国内唯一の内水面有人島・沖島の自治会から住民の念願であった旧火葬場にかかる橋のボランティア整備活動に対する感謝状が贈られた。

これは、沖島町が近江八幡市の「里山整備事業」の採択を得て取り組んでいる沖島小学校から弁財天までの散策道(8橋)改修工事に、同社がボランティア企業として参加し工事を終えたことに対して贈られたものである。

当日は、同社からは奥井代表をはじめ岸田直也総務部長らが出席、同自治会からは森田正行自治会長ら数人が参加し、現地にて感謝状が贈られた。森田自治会長は奥井代表に感謝状を手渡す際、「高齢者が多い島民です。作業中でも手を止めて荷物を代わりに運んで頂いたり、個人の簡易的な修繕・改修も積極的に無償で行って頂いたこと、島民を代表し感謝を申し上げます」と話し、「島民をファミリーのように接して頂いている奥井オーナーをはじめ、心優しい従業員の皆様には頭が上がりません」と深い感謝の意を表した。

その後、テープカット・渡り初めと進めていく中で、奥井代表は森田会長に「私のことを小さい時から知っている方が沢山おられます。その方々は皆、私の心に寄り添って優しく、時に厳しく接して頂きました。今でもあの時の愛情を忘れていませんし、受けた御恩をお返しさせてもらっている途中です。島民の皆様が笑顔で健やかに過ごして頂けることが全社員的心愿です。今後も我々は一生懸命汗をかかせていただきます」と話し、今後も沖島の発展の一役を担っていくことを誓った姿が印象的であった。

奥井総建を含む奥井グループは、総合建設業以外にエコリユースや不動産、産業廃棄物中間処理施設を保有。リラクゼーション部門としては長命寺温泉「天葉の湯」を運営しており、地域の空家を活用して「ライベイトハウス(磯崎邸)」「KIYA」を整備し、日帰りの温泉に宿泊機能を加え、よりゆとりと時間を過ごして貰える環境を整えた。併せて、自社所有の観光船「奥井丸I」「奥井丸II」の2隻も運航。今後は、同施設の利用が近江八幡市の魅力を知りきっかけとなるよう市外・県外へと広くアピールしていく方針だ。

また、奥井代表も個人として地元で様々な活動を行っており、それらの功績から近江八幡漁業協同組合の組合長に就任。今後は企業活動と並行して個人としての活性化に寄与していく考えだ。

計画では、老朽化が著しく流下能力が低い河川の改良を、主会場の西側を流れる「大黒川」と東側の「大洞川」にて行う。「大黒川」は20年度に延長160m、箇所の一部護岸整備を施工、次年度以降も条件が整えば、21年度に延長130mの函渠工事(BOXカルバート工・幅4.7m×高さ90cm)を発注、22年度も同様の函渠工事(同)延長100mを発注し、約5カ月の工期で施工したい考え。

同時期に進める「大洞川」は、21年度に発注・施工した延長100mの護岸整備工(管理用通路整備工)に続いて、同じく延長200mの管理用通路整備工を発注、5カ月で施工する計画。

21年度は延長130mの函渠工事(BOXカルバート工・幅4.7m×高さ90cm)を発注、22年度も同様の函渠工事(同)延長100mを発注し、約5カ月の工期で施工したい考え。

また、奥井代表も個人として地元で様々な活動を行っており、それらの功績から近江八幡漁業協同組合の組合長に就任。今後は企業活動と並行して個人としての活性化に寄与していく考えだ。

また、奥井代表も個人として地元で様々な活動を行っており、それらの功績から近江八幡漁業協同組合の組合長に就任。今後は企業活動と並行して個人としての活性化に寄与していく考えだ。

彦根市は、25年の国スポ大会に向け主会場となる彦根総合運動公園周辺の松原町地先の環境改善の一環として行う、老朽化が著しく流下能力が低い付近の「大黒川」および「大洞川」の河川改良整備について、22年度当初予算に措置した2河川合わせて1億8100万円(事業費)で、大黒川が予定延長100m、大洞川が同200mの改修工事をそれぞれ河川ごとに、順調に設定する見通し。

計画では、老朽化が著しく流下能力が低い河川の改良を、主会場の西側を流れる「大黒川」と東側の「大洞川」にて行う。「大黒川」は20年度に延長160m、箇所の一部護岸整備を施工、次年度以降も条件が整えば、21年度に延長130mの函渠工事(BOXカルバート工・幅4.7m×高さ90cm)を発注、22年度も同様の函渠工事(同)延長100mを発注し、約5カ月の工期で施工したい考え。

同時期に進める「大洞川」は、21年度に発注・施工した延長100mの護岸整備工(管理用通路整備工)に続いて、同じく延長200mの管理用通路整備工を発注、5カ月で施工する計画。

同時期に進める「大洞川」は、21年度に発注・施工した延長100mの護岸整備工(管理用通路整備工)に続いて、同じく延長200mの管理用通路整備工を発注、5カ月で施工する計画。

同時期に進める「大洞川」は、21年度に発注・施工した延長100mの護岸整備工(管理用通路整備工)に続いて、同じく延長200mの管理用通路整備工を発注、5カ月で施工する計画。

今夏にも河川毎発注 大黒川は函渠L100m予定

21年度は延長130mの函渠工事(BOXカルバート工・幅4.7m×高さ90cm)を発注、22年度も同様の函渠工事(同)延長100mを発注し、約5カ月の工期で施工したい考え。

彦根市・松原町地
先の2河川改良工
事業費は計1.8億

発行所
株式会社 SIN
「地方建設専門紙の会」会員
www.s-sangyo.co.jp/
本社
〒520-0801
大津市におの浜1-1-18
滋賀県建設会館 2F
TEL (077) 526-3630
FAX (077) 524-9660
購読料 (1ヵ月)10,368円(税込)
(1部)638円(税込)
購読・見本紙の申し込みは
0120-232838
フリーダイヤル

公益社団法人
滋賀県建設産業団体連合会
大津市におの浜一丁目一番十八号
電話〇七七(五二二)三三三二(代)

きょうの紙面

- ◇大津市発注のなぎさ公園拠点形成基盤整備等検討調査は、ハートビートプランが落札した (2面)
- ◇県内の建築確認申請 (3面)
- ◇県業務発注見直し見直し(1)と入札情報、入札結果 (4-5面)
- ◇あいの土山福祉会は守山市でサクラバール山開発を計画、指名社で31日入札する (6面)

近江八幡長命寺湖畔 ラジウム温泉

長命寺温泉

天葉の湯 CHOMEIJI ONSEN AMAHANOYU

私たちは 人と人とのつながりを大切にすることで 共に育ち 共に繁栄することを使命とします

〒523-0808 滋賀県近江八幡市長命寺町 68-1 ☎ 0748-31-1126